

福島相双復興推進機構の 畜産支援のご紹介

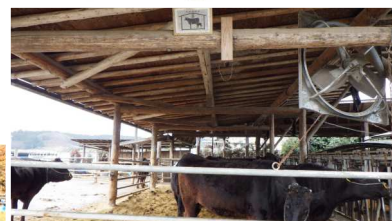
畜産農家様のお役にたてるよう、各地で
活動を展開しています。



(例)



自由参加のセミナーや見学会の開催
(南相馬市、葛尾村、田村市)



**有志の畜産農家様との、
県外の先導農家訪問・見学会**
(茨城県大子町、栃木県矢板市)



**専門家が個別にお伺いしての、
経営・草地利用等の改善支援**



**このほか、地域発意の畜産事
業立ち上げや、耕畜連携マッ
チングのサポートなど**



**興味をもったら、福島相双復興推進機構
営農再開グループの「畜産班」へ！**

担当：松宮嘉一、藤野清貴

電話：松宮070-3543-2256 藤野070-3889-7544

メール：kanmin.chikusan@fsr.or.jp(直通)

取組紹介【最近の話題】

- 震災により失われかけている地域の畜産農家同士をつなげるため、「畜産セミナー」を開催
- 個別の畜産農家に対する畜産専門家による経営改善支援を実施
- 地域資源を活用した新たな畜産業の展開にも取組

「畜産セミナー」の開催

地元自治体やＪＡ等関係機関と連携し、県外の先進農家等を講師に招きセミナーを開催、畜産農家同士のネットワーク構築と技術・経営の向上に取組。

令和２年１１月１１日に田村市にて、「低コスト・省力生産を実現する水田放牧」や「女性や高齢者が長く・楽しく続けられる子牛生産技術」をテーマに「第３回畜産セミナー」を開催した。参加者４９名（機構関係者除く）。



第３回セミナーのようす

畜産専門家による経営改善支援

令和元年８月より、畜産専門家を招いて、若手畜産農家に対し、持続可能な所得確保を目指す経営改善支援を開始。現状の経営分析、増頭目標実現に向けた検証をもとに、草地の品質向上と管理作業の改善への支援、ワークライフバランス確保のための畜舎整備の検討等を実施。



専門家による草地改善検討

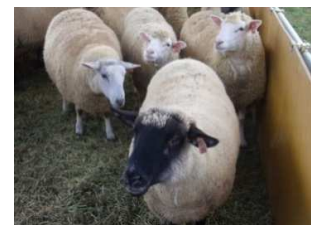
1

新たな畜産業の展開への取組（１）

リンゴジュース粕を活用した混合発酵飼料をめん羊に給餌し、高品質な羊肉の生産実証試験の取組を支援。（令和２年度ＪＲＡ畜産振興事業に採択）

（期間）Ｒ２～Ｒ４年度（実証先）相双地域畜産農家（技術実証）国立大学による協力

令和２年度は４頭生産し、通常飼養との食味の比較評価を踏まえ、給餌方法、飼育環境の改良などに取り組む。



稀少な国産の肉用羊

新たな畜産業の展開への取組（２）

ヤギによる肉やヤギミルク石鹸製造販売、観光牧場等に取り組む、村民出資による株式会社「かつらおファーム」を会社設立時から支援。ハラル食を取扱う企業との資本提携など、相双地域では例のない先進的な取組を進めるにあたり、企業形態選択、資本提携や収入基盤の検討、関係機関との交渉等の場面において、当機構が相談に乗ったり交渉支援をしてきた。

- ・Ｒ２年９月中旬より石鹸製造場整備に着手。
- ・Ｒ２年１０月頃に肉用山羊を初出荷（ただし初回は千葉の第二牧場からの出荷）。
- ・Ｒ３年５月２９日（土）観光牧場部門「かつらおヤギ広場がらがらどん」オープン



葛尾村の山羊牧場

2

取組紹介 【これまでの取組】

○事業者様の牧場計画現地検討会

- ・南相馬市の畜産事業者様の牧場現地検討会を開催。
- ・(一社)日本草地畜産種子協会から、放牧アドバイザーを講師にお招きしました。



- ・平成30年10月22日開催
- ・主催: 福島相双復興推進機構(ご関心を持たれた他の畜産事業者の皆様ほか、相双農林事務所様、南相馬市役所様、東北農政局様にもご参加いただきました。)

3

○先進事例見学会

- ・茨城県大子町の益子農林、CBSを、相双地域の畜産有志で見学。
- ・益子農林代表は、第1回セミナー講師の益子光洋様。

◎キャトルブリーディングステーション (CBS) <11時～12時>



CBSの説明



預託牛



「養牛カメラ」



「牛歩」



飼料調製の説明

◎牛舎、省力技術、放牧場 <13時30分～16時>



木造牛舎①



木造牛舎②



左の牛舎に隣接するパドック



パイプハウス牛舎



鉄筋牛舎(建設中)



林間放牧場



らくらくきゅうじくん



チェーンブロック三脚



急峻な棚田跡地の放牧場利用

- ・平成30年11月30日開催
- ・主催: 福島相双復興推進機構

○畜産農家と耕種農家の耕畜連携支援

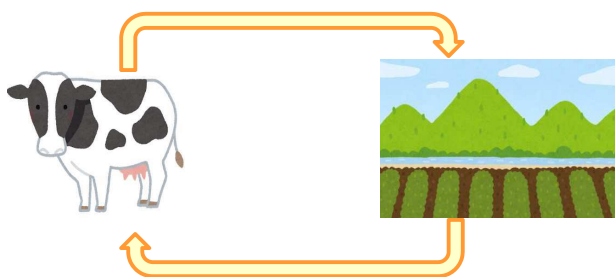
- 訪問活動を通じ把握した畜産農家(酪農家)の堆肥処理の課題に対し、堆肥需要のあった耕種農家・企業によるソルガム実証栽培プロジェクトとのマッチングを実施。

【支援概要・成果】

- 訪問活動を通じて伺った川内村の酪農家の課題（堆肥処理に困っている）に対し、除染による地力不足や土壌環境回復のためにソルガム栽培を計画、堆肥調達が課題となっていた富岡町の耕種農家をマッチングし、両者間で堆肥取引が成立。
- ソルガム実証栽培のサポートのため、県内外の関係機関を紹介。

【耕畜連携のイメージ】

ふん尿などを再利用した堆肥



(当該ソルガムの実証栽培プロジェクトは終了済み)

【ソルガム】



5

○畜産関連施設視察会

- ・地域の畜産農家からのご要望を受け、平成31(2019)年3月に完成した(株)JA和牛ファーム福島さくら(田村市)のCBS視察会を企画・開催。



- ・令和元(2019)年10月4日開催
- ・地元畜産農家9名参加、JA職員の解説を受けながら見学を行った。

6

取組紹介【各地での活動】

【全体】

- 「畜産酪農懇談会・第1回セミナー」
(於南相馬市・平成30年6月19日)



- 畜産農家有志での茨城県太子町の益子農林(第1回セミナー講師)・CBS訪問見学会(平成30年11月30日)

※南相馬市、飯館村、葛尾村の畜産農家が参加



- 「畜産酪農懇談会・第2回セミナー」
(於葛尾村・平成31年3月18日)

〔※平成31年度／令和元年度は、台風被害や新型コロナウイルス感染拡大により、セミナーは開催できず延期。〕

- 「福島相双復興推進機構
・第3回畜産セミナー」
(於田村市・令和2年11月11日)



- 「福島相双復興推進機構
・第4回畜産セミナー」
(於葛尾村・令和3年7月16日)

【南相馬市など】

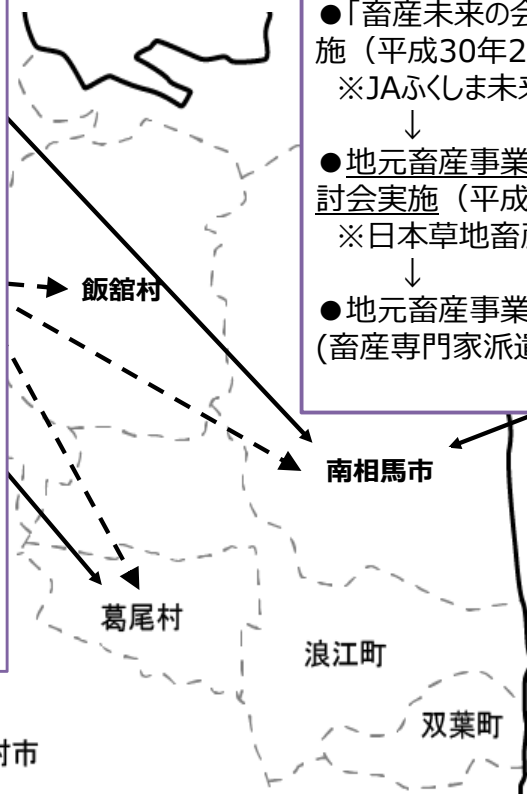
- 「畜産未来の会」との、畜産勉強会を実施(平成30年2月28日)
※JAふくしま未来と連携



- 地元畜産事業者様の牧場計画現地検討会実施(平成30年10月22日)
※日本草地畜産種子協会と連携



- 地元畜産事業者の経営改善支援実施(畜産専門家派遣)(令和元年8月～)



7

【葛尾村】

<ヤギ牧場(肉・乳・観光)>

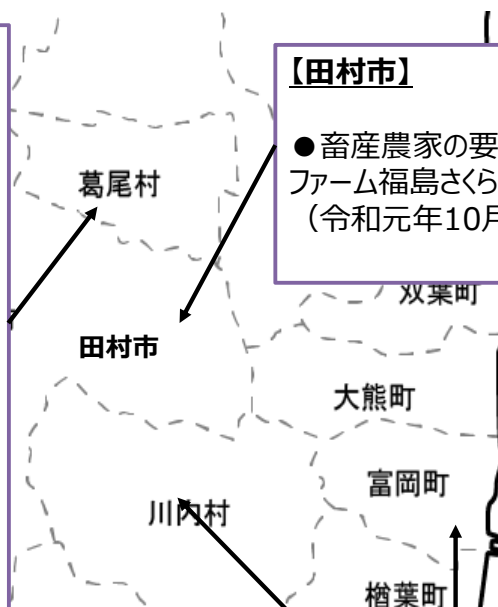
- 葛尾村畜産勉強会実施
・平成28年10月、12月、翌年5月(計3回)
↓<波及効果>
- 地元有志による(株)かつらおファーム設立。
(平成29年12月)
※会社設立時より経営に関する方針、各種活動や交渉事について相談対応・協力。
- ・平成30年12月 (株)農と資本提携成立
- ・令和2年 肉用羊(ハラル食向け)出荷開始
石鹼製造施設の整備※
※施設整備等に係る「里山経済活性化事業」の専門委員として、萬田技術参与が参画。
- ・令和3年5月29日(土)
観光牧場「かつらおヤギ広場がらがらどん」オープン

<ヒツジ牧場(肉)>

- 「混合発酵飼料を用いた羊肉生産実証事業」スタート
- ・令和2年度JRA畜産振興事業採択
～3カ年で実施
※葛尾村めん羊事業者と国立大学等が連携実施。相双機構と村役場が現地サポート。
※大学等とのマッチングは、萬田技術参与のサポートにより実施。

【田村市】

- 畜産農家の要望を受け、(株)JA和牛ファーム福島さくらCBS見学会を企画・実施(令和元年10月4日)



【富岡町・川内村など】

- 富岡町内でソルガム実証栽培・土壌環境回復に取り組む企業・地元農家と、堆肥供給先を探していた川内村の酪農家を耕畜連携マッチング(平成30年4月)
※そのほか県内外の専門機関紹介等を実施

<なお、富岡町での当該PJは既に終了した>

<一過性でない「持続的な活動」を目指す>

8